

につせい農事にゆーす

(第441回) 日星コーポレーション株式会社

アグロ部 (054-263-2860)

8月は平均気温が平年に比べ1℃以上高い日がほとんどで、月の半数の日が最高気温が33℃を上回るまさに猛暑の夏でした。一方、月半ばに襲来した台風7号の影響で、県東部地域を中心に降雨量が多くなり、生活や交通に大きな影響をもたらしました。気象予報によれば、9月は気温が平年より高い一方、降水量は平年並または多い確率が高くなっています。9月は秋冬野菜の定植、生育時期に当たります。この時期に、病害虫の被害を受けると、その後の生育に大きな影響が出るのが懸念されます。気象条件や、農作物の生育を細かにチェックし、早めに対策を心掛けましょう。

病害虫防除所の9月予報では、稲で紋枯病がやや多、温州みかんで黒点病が多、ミカンハダニがやや多、中晩柑類でかいよう病がやや多、茶ではカンザワハダニが多、クワシロカイガラムシがやや多、いちごでハスモンヨトウがやや多、作物全般でオオタバコガがやや多、の情報が出ています。

今月も、水稻、みかん、茶の病害虫防除について9月に行う作業を紹介します。

令和5年8月22日

気象予報 '23-9

東海地方3か月気象予報

名古屋地方気象台

この期間の平均気温は、平年より高い確率が50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

● 月別の予報

9月：天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は、高い確率50%、降水量は平年並または高い確率とも40%です。

10月：天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、高い確率が50%です。

11月：平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です

● 向こう3か月の気温、降水量の各段階の確率 (%)

予報の 区分	気温			降水量		
	低い	平年並	高い	少ない	平年並	多い
3か月	20%	30%	50%	20%	40%	40%
9月	20%	30%	50%	20%	40%	40%
10月	20%	30%	50%	30%	30%	40%
11月	20%	40%	40%	30%	40%	30%

病害虫発生予察情報(9月予報)

令和 5年 8月 30日
静岡県病害虫防除所長

1 予察概況

作物名	病害虫名	予報 (9月の県平均平年値)	予報の根拠
稲	いもち病 (穂いもち)	発生量:並 (発病株率 1.3%)	8月の葉いもち発生量:並(±) 8月の穂いもち発生量: 少(発生なし)(-) 気象予報:気温:高い(-) 気温:高い(-)
	紋枯病	発生量:やや多 (発病株率 11.1%)	8月発生量:やや少(-) 気象予報:気温:高い(+) 降水量:並か多い(+)
	トビイロウンカ	発生量:並 (寄生数 0.7頭/株)	8月発生量:少(発生なし)(-) 8月の成虫誘殺数:少(誘殺なし)(-) 気象予報:気温:高い(+) 降水量:並か多い(±)
	斑点米カメムシ類	発生量:並	8月発生量:やや少(-) 8月の成虫誘殺数:並~やや少(±~-) 気象予報:気温:高い(+) 降水量:並か多い(±)
温州 みかん	黒点病	発生量:多 (発病度 0.9)	8月中下旬発生量:多(+) 気象予報:気温:高い(±) 降水量:並か多い(+)
	ミカンハダニ	発生量:やや多 (寄生葉率 2.5%)	8月中下旬発生量:多(+) 気象予報:気温:高い(±) 降水量:並か多い(-)
	チャノキイロ アザミウマ	発生量:やや少 (寄生果率 0.1%)	8月中下旬発生量:少(-) 気象予報:気温:高い(+) 降水量:並か多い(±)
中晩柑類	かいよう病	発生量:やや多 (発病度(果) 0.4)	8月中下旬発生量:やや多(+) 気象予報:気温:高い(±) 降水量:並か多い(+)
かき	ハマキムシ類	発生量:やや少	8月中旬発生量:少(-) フェロモントラップ誘殺数:少~多(-~+) 気象予報:気温:高い(+) 降水量:並か多い(±)
果樹全般	カメムシ類	飛来数:並	8月上中旬誘殺数:少~やや多(-~+) ヒノキ・スギ球果着果数:やや少(-) ヒノキ・スギ球果寄生数:やや少(-) ヒノキ球果吸汁痕数:やや少(-) 気象予報:気温:高い(+) 降水量:並か多い(±)
茶	炭疽病	発生量:並 (病葉数 28.3葉/1.25㎡)	8月中下旬発生量:やや少(-) 気象予報:気温:高い(±) 降水量:並か多い(+)
	チャノキイロ アザミウマ	発生量:並 (叩き落とし虫数 4.9頭/4か所)	8月中下旬発生量:やや少(-) 気象予報:気温:高い(+) 降水量:並か多い(±)

作物名	病害虫名	予報 (9月の県平均平年値)	予報の根拠
茶	チャノミドリ ヒメヨコバイ	発生量:並 (叩き落とし虫数 1.0頭/4か所)	8月中下旬発生量 :やや少 (－) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(±)
	チャノホソガ	発生量:少 (巻葉数 1.2葉/1.25㎡)	8月中下旬発生量 :少 (－) 8月の成虫誘殺数 :並～少(±～－) 気象予報 :気 温 :高い (±) 降水量 :並か多い(±)
	ヨモギエダシャク	発生量:やや少 (叩き落とし虫数 0.12頭/4か所)	8月中下旬発生量 :少 (－) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(±)
	カンザワハダニ	発生量:多 (寄生葉率 3.0%)	8月中下旬発生量 :多 (＋) 防除員からの報告:やや多～多(＋) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(±)
	クワシロ カイガラムシ	発生量:やや多 (寄生株率 1.3%) 発生時期:早い	8月中下旬発生量 :やや多 (＋) 気象予報 :気 温 :高い (±) 降水量 :並か多い(±)
ねぎ (白ねぎ)	疫病	発生量:やや少 (発病株率 1.1%)	8月下旬発生量 :少(発生なし)(－) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(＋)
	黒斑病・葉枯病	発生量:やや少 (発病株率 4.7%)	8月下旬発生量 :少(発生なし)(－) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(＋)
	シロイチモジヨトウ	発生量:並 (寄生株率 1.6%)	8月下旬発生量 :少 (－) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(±)
	ネギハモグリバエ	発生量:やや少 (寄生株率 45.4%)	8月下旬発生量 :少 (－) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(±)
	ネギアザミウマ	発生量:並 (寄生株率 14.6%)	8月下旬発生量 :少 (－) 防除員からの報告:やや多 (＋) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(±)
いちご	炭疽病	発生量:やや少 (10月発病株率 1.7%)	8月上旬発生量 :少 (－) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(＋)
	うどんこ病	発生量:少 (10月発病株率 1.5%)	8月上旬発生量 :少 (－) 気象予報 :気 温 :高い (－) 降水量 :並か多い(±)
	ハダニ類	発生量:並 (10月寄生株率12.5%)	8月上旬発生量 :やや少 (－) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(－)
	ハスモンヨトウ	発生量:やや多 (10月寄生株率 0.4%)	8月上旬発生量 :やや多 (＋) 8月上中旬誘殺数:並～やや少(±～－) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(－)
作物全般	オオタバコガ	発生量:やや多	フェロモン誘殺数:並 (±) 気象予報 :気 温 :高い (＋) 降水量 :並か多い(±)

9月の防除作業 水稻、みかん、茶

<水 稲>

9月は出穂した穂に栄養が貯まる登熟期です。この時期に問題となる病害虫は、穂いもち、紋枯病、トビイロウンカ、斑点米カメムシなどです。いもち病に対する育苗箱処理剤の残効は出穂期までなので、それ以降に曇雨天で日照不足が続く場合は、常発地や山間地水田では早めに薬剤散布を行う（**ブラシンフロアブル**）。また前年に紋枯病の発生が見られた水田やすでに下位葉鞘で病斑が見られるような水田では、薬剤散布（**モンカットフロアブル**や**バリダシン液剤5**等）を行う。



穂いもち

例年、8月後半からトビイロウンカが本田に侵入、増殖して、9月にかけて被害(坪枯れ)が発生する。葉色が坪状に黄色くなり始めるような症状が出てきてからの防除では遅いので、防除未実施の水田では株元を観察し、トビイロウンカの寄生が確認できれば、速やかに薬剤散布を行う（**トレボン乳剤**、**アルバリン顆粒水溶剤**、**エクシードフロアブル**等）。斑点米カメムシ類（主にイネカメムシ）も前月には本田に侵入が確認されている。今後、他のカメムシ類も稲の出穂にあわせて本田に侵入してくるので、ウンカ類との同時防除を行う（**アルバリン顆粒水溶剤**、**トレボン乳剤**、**エクシードフロアブル**等）。地域でまとまって薬剤散布すると効果が高い。



トビイロウンカ

<みかん>

黒点病は、風雨により伝染するため、秋雨期は果実への感染時期となる。薬剤散布は25～30日間隔、または累計降雨量250～300mmを目安として行う（**ペンコゼブ水和剤**、**ジマンダイセン水和剤**など、**エムガイア**水和剤は使用時期が収穫60日前までなので注意する）。中晩柑類では、台風がやってくるとかいよう病の発生が心配される。本病に感染した組織内の病原菌には薬剤の効果はほぼない。そのため発生が見られる園地では感染拡大を防ぐよう降雨前に予防散布を行う（**バリダシン液剤5**、**コサイド3000**など）。



黒点病

チャノキイロアザミウマの加害は果頂部が中心となる。果実肥大期に加害されると、加害部にカルスが形成され、灰褐色の被害となる。成虫飛来盛期に防除すると効果が高いので、病虫害防除所の発表する成虫発生時期の予想情報を参考に薬剤散布を行う（**ディアナWDG**、**ロディー乳剤**など）。ミカンハダニは9月中旬～10月下旬に密度が高まる。この時期は果実を加害することや天敵の活動があまり期待できないことから、必ず防除を行う（**スターマイトフロアブル**、**ダニエモンフロアブル**、**ダニゲッターフロアブル**など）。

チャノキイロアザミウマ
被害（果頂部）

< 茶 >

9月には秋芽を製茶するために摘採する茶園と、そのまま刈り捨てる茶園がある。秋芽を製茶する茶園では、病害虫の発生状況に応じた防除は行う。一方、刈り捨てる茶園では刈り捨てた後に残る葉を守るための必要最低限の防除を行う。

秋芽を摘採する茶園では、新芽害虫のウンカ、スリップス、チャノホソガの発生が目立つようであれば、薬剤防除を行う。ウンカ、スリップスには**ガンバ水和剤**、または**コテツフロアブル**が有効である。この時期、ヨモギエダシャクやチャノホソガの発生が多くみられる。**マッチ乳剤**又は**フェニックスフロアブル**を早めに散布する。今年はカンザワハダニの発生が多い。発生がみられる場合は、**アグリメック**を混用するとよい。チャノホコリダニにも効果がある。病害では、雨が続くようであれば炭疽病の感染が心配される。台風や熱帯低気圧の影響で雨が数日続くようなことがあれば、事前には**ダコニール 1000** や**フロンサイド SC**等の予防効果の高い薬剤を、降雨後では**スコア顆粒水和剤**や**オンリーワンフロアブル**等の治療効果の高い薬剤で防除を行う。赤焼病の発生が心配される幼木園や本病に弱い品種等では、強風通過後、初発を見たら銅を含む殺菌剤を早めに散布する。

摘採まで日数が少ないので、薬剤の使用時期を確認して、薬剤を選択する。



カンザワハダニ



チャノミドリヒメヨコバイ



炭疽病

今月の防除(令和5年9月)

作物	時期	病害虫	使用薬剤	使用法	使用基準	備考
稲 中手品種 晩生品種	上～下	穂もち・ ごま葉枯病・ 穂枯れ・ ウンカ類・ 斑点米カメムシ類	ブラシントレバリダ粉剤 DL 又は ブラシントレバリダ 水和剤 害虫3種には アルバリン粒剤 病害のみや害虫のみ の場合は備考欄参照	3-4Kg/10a (カメムシは 4Kg/10a) 500倍 3Kg/10a	14日-2 14日-2 7日-3	○病害のみでは ブラシン粉剤DL ブラシンフロアブル ○ウンカ・カメムシのみでは トレボン粉剤DL アルバリン粉剤DL キラップフロアブル アルバリン顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 トレボン乳剤
イチゴ	上～下	炭疽病 角斑細菌病 うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類 ハスモンヨトウ ミカンキイロアザミウマ	オーソサイド水和剤80 コサイド3000 サンヨール 又は アミスター20フロアブル アドマイヤー1粒剤又は ベストガード粒剤 スターマイトフロアブル アタブロン乳剤 アーデント水和剤又は マッチ乳剤	800倍 1,000倍 1,000倍 2,000倍 0.5g/株 1g/株 2,000倍 2,000倍 1,000倍 1,000倍	14日-5 --- 前日-6 前日-8 定植時-1 定植時-1 前日-2 前日-3 前日-4 前日-4	散布回数: 苗床4回、本圃3回以内 植穴土壌混和する 植穴土壌混和する アーデントは天敵に影響あり。
茶	秋芽 萌芽期	炭疽病・もち病・ 褐色円星病 ウンカ・スリップス チャノホソガ	スコア顆粒水和剤又は オンリーワンフロアブル ガンバ水和剤 又は コテツフロアブル マッチ乳剤	2,000倍 2,000倍 1,500倍 2,000倍 2,000倍	7日-2 7日-2 14日-1 7日-2 7日-1	ガンバ、コテツはチャノホコリダニ、 チャノナガサビダニにも効果あり。
	生育期	カンザワハダニ チャノホコリダニ チャノナガサビダニ	アグリメック 又は ミルベノック乳剤	1,000倍 1,000倍	7日-1 7日-1	スターマイトフロアブル2000倍 (7日-1)もカンザワハダニや チャノホコリダニにも可。
温州 みかん	中	黒点病 褐色腐敗病 ミカンハダニ 及び ミカンサビダニ チャノキイロアザミウマ カメムシ類 及び ハマキムシ類	ジマンダイセン水和剤 又はペンコゼブ水和剤 ランマンフロアブル又は レーバスフロアブル スターマイトプラス又は ダニエモンフロアブル テルスター水和剤 ロディー乳剤	600倍 600倍 2,000倍 2,000倍 1,000倍 4,000倍 1,000倍 2,000倍	30日-4 30日-4 前日-3 前日-3 7日-1 7日-1 前日-3 7日-4	ナティーボフロアブル1500倍 (前日-3)も可。 ストロビドドライフロアブル 2000倍(14日-3)も可。 ダニゲッターフロアブル2000倍 (前日-1)も可。 カメムシ類にも有効 チャノキイロアザミウマにも有効
中晩柑類	上～下	かしよう病 ミカンハダニ カイガラムシ類	バリダシン液剤5 ダニエモンフロアブル モスピラン顆粒水溶剤 又は アプロードエース フロアブル	500倍 4,000倍 2,000倍 1,000倍	7日-4 7日-1 14日-3 45日-2	コサイド3000(クレフノン加用)も可 マイトコーネフロアブル1000倍 (7日-1)もミカンハダニに可。
キク	上～下	白さび病 黒斑・褐斑病 アザミウマ類 ハダニ類	アミスター20フロアブル ダコニール1000 ダントツ水溶剤 トクチオン乳剤	2,000倍 1,000倍 2,000倍 1,000倍	5回以内 6回以内 4回以内 5回以内	アグリメック500倍(5回以内)も可。

*使用前には、ラベルをよく読み、登録内容に沿って使用してください。